



# 2022年3月期 第1四半期 決算説明資料

---

2021年8月10日

石油資源開発株式会社  
(証券コード：1662)

# 目次

---

## I. 業績ハイライト

## II. 2022年3月期 第1四半期決算の概要

## III. 2022年3月期 業績予想の概要

※本資料は2021年8月11日開催予定の機関投資家およびアナリスト向け決算説明会資料を兼ねております。

---

# I. 業績ハイライト

## II. 2022年3月期 第1四半期決算の概要

## III. 2022年3月期 業績予想の概要

# 業績ハイライト

## ■ 22年3月期 第1四半期決算（前年同期比）

単位：億円	21/3月期 1Q (a)	22/3月期 1Q (a)	比較増減	
営業利益	△52	<b>34</b>	+86	-
経常利益	△95	<b>104</b>	+200	-
親会社株主に帰属する当期純利益	△95	<b>71</b>	+166	-

- E&P事業： 原油価格上昇による国内収支改善や希釈ビチューメン販売収支の改善
- I/U事業： 福島天然ガス発電所\*の通期稼働にともなう電力販売量増加、LNG調達差益などにより増益
- 営業外損益： 為替差益の計上や持分法による投資利益増加などにより増益

## ■ 22年3月期 業績予想修正（5/13公表予想比）

単位：億円	5/13公表予想 (f)	8/10公表予想 (f)	比較増減	
営業利益	82	<b>118</b>	+36	+45%
経常利益	157	<b>261</b>	+104	+66%
親会社株主に帰属する当期純利益	△283	<b>△1,140</b>	△857	-

- E&P事業： 原油価格見通しの上昇により主に国内収支改善
- I/U事業： LNG調達差益の減少
- 営業外損益： 為替差益の計上や持分法による投資利益増加
- 特別損失： カナダ・オイルサンドプロジェクト事業終結にともなう子会社売却損の計上

\* 当社を含む民間5社が事業パートナーとして出資する福島ガス発電(株)（当社出資比率33%）が運用管理を実施

# カナダ2事業の終結にともなう業績・財務等への影響

## ■ 業績への影響（特別損失の計上）

### カナダ・シェールガスプロジェクト権益譲渡

連結子会社 JAPEX Montney Ltd. (JML)

勘定科目	計上時期		金額
権益譲渡損	2022年3月期2Q	連結	約 437 億円*

関係会社貸倒引当金 繰入額	2021年3月期	個別	171 億円
債務保証損失引当金 繰入額	2021年3月期	個別	228 億円

注)\*概算見込 約497百万カナダドル/2021年6月末時点の為替レート評価額

### カナダ・オイルサンドプロジェクト子社株式売却

連結子会社 Japan Canada Oil Sands Limited (JACOS)

勘定科目	計上時期		金額
子会社株式売却損	2022年3月期2Q	連結	約 900 億円

子会社株式評価損	2022年3月期2Q	個別	約 800 億円
債務保証損失引当金 繰入額	2022年3月期2Q	個別	約 100 億円

## ■ 連結貸借対照表および埋蔵量・生産量への影響

-2022年3月期末では、連結子会社JML・JACOSにかかる以下の残高が減少するとともに、埋蔵量・生産量についても下記の影響が生じる見込み

(参考値・2021年3月期末残高)	JML	JACOS
有形固定資産	542 億円	1,212 億円
長期借入金 (一年内返済部分を含む)	557 億円	556 億円

(参考値・2021年3月末時点)	JML	JACOS
確認埋蔵量	70 百万BOE	83 百万BOE
生産量日量	9 千BOED	17 千BOED

注) BOE: Barrels of oil equivalent / BOED: Barrels of oil equivalent per day

(参照資料)

- ・ 2021年7月29日付当社開示「当社におけるカナダ・オイルサンドプロジェクトの事業終結と、これにともなう特定子会社の異動および特別損失の計上、ならびに役員報酬の自主返上について」
- ・ 2021年5月13日付当社開示「カナダシェールガスプロジェクトの権益譲渡および同プロジェクトに係る特別損失の計上について」
- ・ 2021年3月10日付当社開示「個別決算における特別損失（関係会社貸倒引当金繰入額）の計上に関するお知らせ」

---

I. 業績ハイライト

II. 2022年3月期 第1四半期決算の概要

III. 2022年3月期 業績予想の概要

# E&P事業 販売実績【前年同期比】

売上高単位：百万円	販売量単位	21/3月期 1Q (a)		22/3月期 1Q (a)		増減			
		販売量	売上高	販売量	売上高	販売量	売上高		
E&P事業	-	-	22,904	-	16,796	-	-	△ 6,108	△27%

(内訳)

原油	千KL	687	15,936	114	5,556	△572	△83%	△10,380	△65%
- 国産原油		60	1,800	85	3,927	① +25	+42%	+2,127	+118%
- 海外原油* <sup>1</sup>		168	4,393	22	1,312	② △146	△87%	△3,081	△70%
- 買入原油		458	9,742	6	316	③ △451	△99%	△9,426	△97%
希釈ビチューメン* <sup>2</sup>		410	6,258	351	10,058	△59	△14%	④ +3,800	+61%
天然ガス・海外販売* <sup>3</sup>	百万M3	111	709	128	1,181	+16	+15%	⑤ +471	+66%

## 主な増減要因

- ①販売量の増加および販売価格の上昇
- ②イラク ガラフ油田 販売数量の減少
- ③SODECO買入原油 収益認識基準適用による前期販売量の剥落
- ④カナダ ハンギングストーン鉱区 販売価格の上昇
- ⑤カナダ・シェールガス販売価格の上昇

\*1 海外連結子会社 株式会社ジャベックスガラフ、JAPEX Montney Ltd.およびJapex (U.S.) Corp. の数値

\*2 ロイヤリティー控除後の数値

\*3 海外連結子会社JAPEX Montney Ltd.およびJapex(U.S.)Corp.の数値

# インフラ・ユーティリティ事業 販売実績【前年同期比】

売上高単位：百万円	販売量単位	21/3月期 1Q (a)		22/3月期 1Q (a)		増減			
		販売量	売上高	販売量	売上高	販売量	売上高		
インフラ・ユーティリティ事業	-	-	20,997	-	<b>23,009</b>	-	-	+2,012	+10%

(内訳)

天然ガス・国内販売	百万M3	248	12,798	<b>233</b>	<b>10,709</b>	①	△15	△6%	△2,088	△16%
- 国産天然ガス		109	-	<b>123</b>	-	+13	+13%	-	-	
液化天然ガス	千トン	53	3,597	<b>52</b>	<b>4,397</b>		△0	△2%	+800	+22%
電力	百万kWh	448	3,493	<b>765</b>	<b>7,163</b>	②	+316	+71%	+3,670	+105%
その他*	-	-	1,108	-	<b>739</b>		-	-	△369	△33%

## 主な増減要因

- ①販売量の減少および販売価格の低下
- ②福島天然ガス発電所の通期稼働にともなう電力販売量の増加および販売価格の上昇

\* 天然ガスの受託輸送収入および液化天然ガスの気化受託収入などを含む

# 決算概要【前年同期比】

単位：百万円	21/3月期 1Q (a)	22/3月期 1Q (a)	増減	
売上高	51,018	<b>50,083</b>	△ 935	△2%
売上総利益	2,399	<b>11,179</b>	+8,779	+366%
営業利益	△ 5,250	<b>3,400</b>	+8,650	-
経常利益	△ 9,575	<b>10,491</b>	+20,066	-
親会社株主に帰属する当期純利益	△ 9,536	<b>7,106</b>	+16,642	-

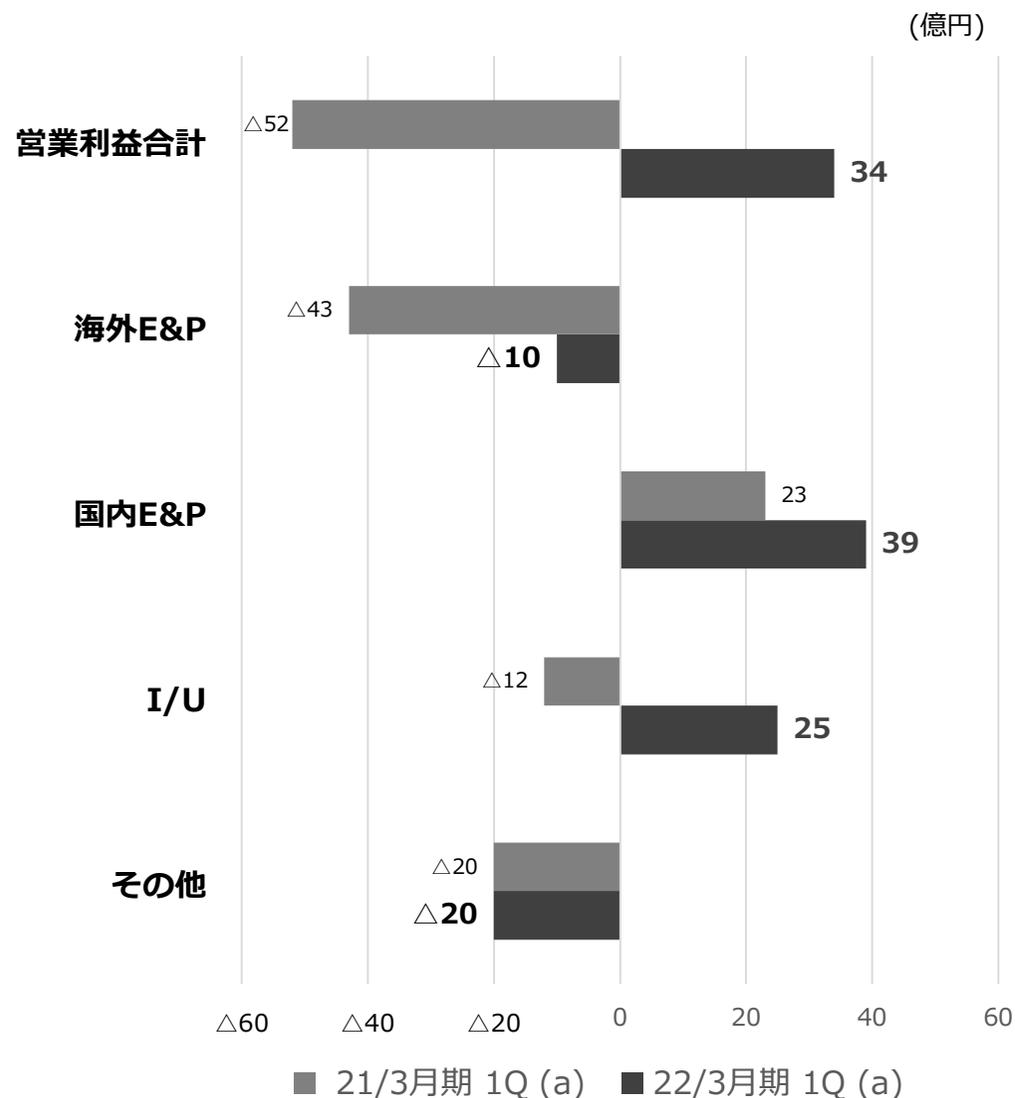
## 原油価格・為替・販売価格の実績

		21/3月期 1Q (a)	22/3月期 1Q (a)	増減
WTI	USD/bbl	45.10	<b>58.10</b>	+13.00
原油CIF(JCC)	USD/bbl	44.41	<b>64.25</b>	+19.84
為替	円/USD	108.04	<b>108.43</b>	+0.39
JACOS 希釈ビチューメン <sup>*1</sup>	USD/bbl	22.30	<b>40.99</b>	+18.69
JML 天然ガス <sup>*2</sup>	CAD/mcf	2.36	<b>2.96</b>	+0.60

\*1 海外連結子会社Japan Canada Oil Sands Ltd.の希釈ビチューメン販売価格（ロイヤルティ控除後）

\*2 海外連結子会社Japex Montney Ltd.の天然ガス販売価格（ロイヤルティ控除後）

# 営業利益概要【前年同期比】



## E&P事業

(海外) : +33億円 (△43億円 → △10億円)

- 原油価格上昇による希釈ビチューメン販売収支の改善

(国内) : +15億円 (23億円 → 39億円)

- 原油価格上昇による収支改善

## インフラ・ユーティリティ(I/U)事業

+38億円 (△12億円 → 25億円)

- 福島天然ガス発電所の通期稼働にともなう電力販売量の増加
- LNG調達差益の増加

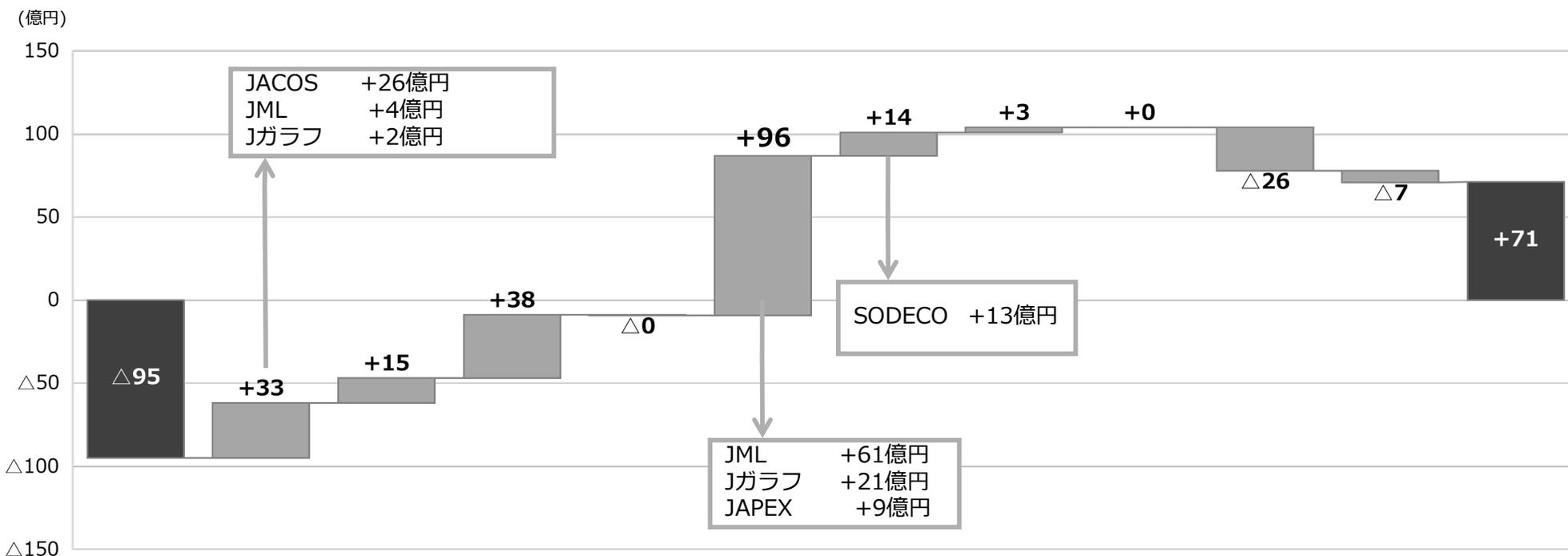
## その他※

(△20億円 → △20億円)

※ 上記事業部門に属さない営業利益（請負、石油製品・商品等）から本社管理費を控除した金額

\*営業利益内訳の事業区分別のそれぞれの金額は、当社グループの内部管理上の数値

# 純利益増減分析【前年同期比】



純利益	営業利益* +86億円				営業外損益 +114億円				純利益		
21/3月期 1Q (a)	海外E&P	国内E&P	I/U	その他	為替差損益	持分法投資損益	その他	特別損益	法人税等	非支配株主利益	22/3月期 1Q (a)
21/3月期 1Q (a)	△43	23	△12	△20	△58	21	△6	△0	1	△2	
22/3月期 1Q (a)	△10	39	25	△20	38	35	△3	△0	28	5	

\*営業利益内訳の事業区分別のそれぞれの金額は、当社グループの内部管理上の数値

---

I. 業績ハイライト

II. 2022年3月期 第1四半期決算の概要

**III. 2022年3月期 業績予想の概要**

# E&P事業 販売予想修正【5.13公表予想比】

売上高単位：百万円	販売量単位	前回予想 (f) 5.13公表		今回予想 (f) 8.10公表		増減			
		販売量	売上高	販売量	売上高	販売量		売上高	
E&P事業	-	-	70,034	-	71,444	-	-	+1,409	+2%

(内訳)

原油	千KL	818	32,397	822	40,027	+4	+1%	+7,630	+24%
- 国産原油		281	11,405	285	13,628	+3	+1%	① +2,223	+19%
- 海外原油*1		512	19,928	513	25,217	+0	+0%	② +5,288	+27%
- 買入原油		24	1,063	24	1,181	△0	△1%	+118	+11%
希釈ビチューメン*2		1,444	36,661	949	30,211	③ △494	△34%	△6,450	△18%
天然ガス・海外販売*3	百万M3	127	975	130	1,205	+2	+2%	+229	+24%

## 主な増減要因

- ①販売価格の上昇
- ②イラク ガラフ油田 販売価格の上昇
- ③カナダ・オイルサンドプロジェクト事業終結にともなう9月以降の販売量の減少

\*1 海外連結子会社 株式会社ジャベックスガラフ、JAPEX Montney Ltd.およびJapex (U.S.) Corp. の数値

\*2 ロイヤリティー控除後の数値

\*3 海外連結子会社JAPEX Montney Ltd.およびJapex(U.S.)Corp.の数値

# インフラ・ユーティリティ事業 販売予想修正【5.13公表予想比】

売上高単位：百万円	販売量単位	前回予想 (f) 5.13公表		今回予想 (f) 8.10公表		増減			
		販売量	売上高	販売量	売上高	販売量	売上高		
インフラ・ユーティリティ事業	-	-	101,706	-	<b>108,899</b>	-	-	+7,193	+7%

(内訳)

天然ガス・国内販売	百万M3	1,018	48,194	<b>1,026</b>	<b>51,510</b>	+7	+1%	① +3,316	+7%
- 国産天然ガス		491	-	<b>491</b>	-	△0	△0%	-	-
液化天然ガス	千トン	310	20,061	<b>301</b>	<b>21,487</b>	△8	△3%	② +1,425	+7%
電力	百万kWh	3,154	28,944	<b>3,164</b>	<b>31,038</b>	+9	+0%	③ +2,093	+7%
その他*	-	-	4,505	-	<b>4,863</b>	-	-	+357	+8%

## 主な増減要因

①-③LNG価格想定の見直しなどによる販売価格の上昇

\* 天然ガスの受託輸送収入および液化天然ガスの気化受託収入などを含む

## 業績予想修正【5.13公表予想比】

単位：百万円	前回予想 (f) 5.13公表	今回予想 (f) 8.10公表	増減	
売上高	211,153	<b>220,789</b>	+9,635	+5%
売上総利益	40,038	<b>42,141</b>	+2,103	+5%
営業利益	8,215	<b>11,894</b>	+3,678	+45%
経常利益	15,740	<b>26,159</b>	+10,418	+66%
親会社株主に帰属する当期純利益	△28,317	△ <b>114,021</b>	△ 85,704	-

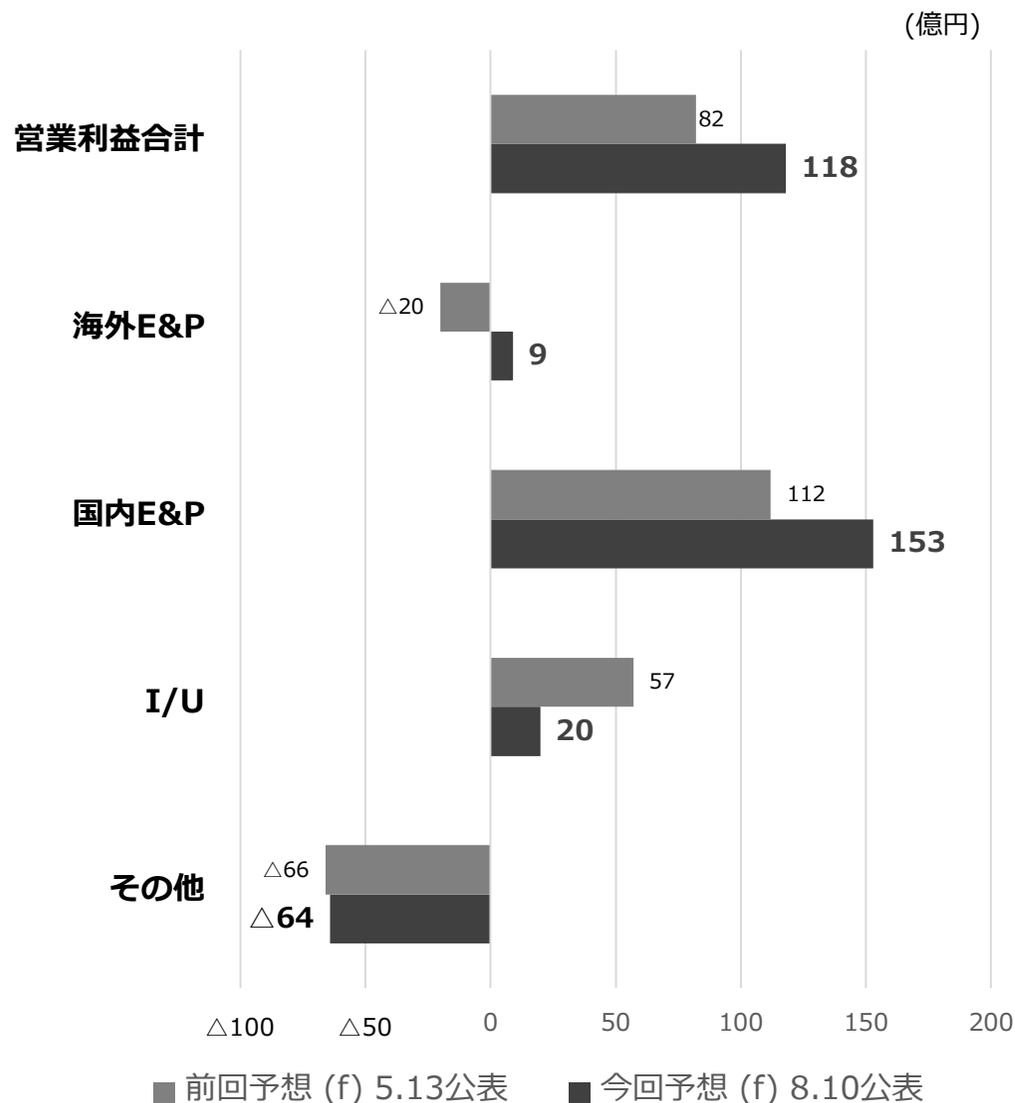
### 原油価格・為替・販売価格の実績

		前回予想 (f) 5.13公表	今回予想 (f) 8.10公表	増減
WTI	USD/bbl	54.74	<b>64.38</b>	+9.64
原油CIF(JCC)	USD/bbl	60.00	<b>68.28</b>	+8.28
為替	円/USD	105.00	<b>108.12</b>	+3.12
JACOS 希釈ビチューメン <sup>*1</sup>	USD/bbl	38.44	<b>46.84</b>	+8.40
JML 天然ガス <sup>*2</sup>	CAD/mcf	2.68	<b>2.96</b>	+0.28

\*1 海外連結子会社Japan Canada Oil Sands Ltd.の希釈ビチューメン販売価格（ロイヤルティ控除後）

\*2 海外連結子会社Japex Montney Ltd.の天然ガス販売価格（ロイヤルティ控除後）

# 営業利益概要【5.13公表予想比】



## E&P事業

**(海外) : +30億円 (△20億円 → 9億円)**

- 原油価格上昇による希釈ビチューメン販売収支改善

**(国内) : +41億円 (112億円 → 153億円)**

- 原油価格上昇による収支改善
- 国産天然ガス販売単価\*の上昇

\* 当社内部管理上のE&P事業からインフラ・ユーティリティ事業への取引価格

## インフラ・ユーティリティ事業 (I/U)

**△ 37億円 (57億円 → 20億円)**

- LNG調達差益の減少

## その他\*

**+2億円 (△66億円 → △64億円)**

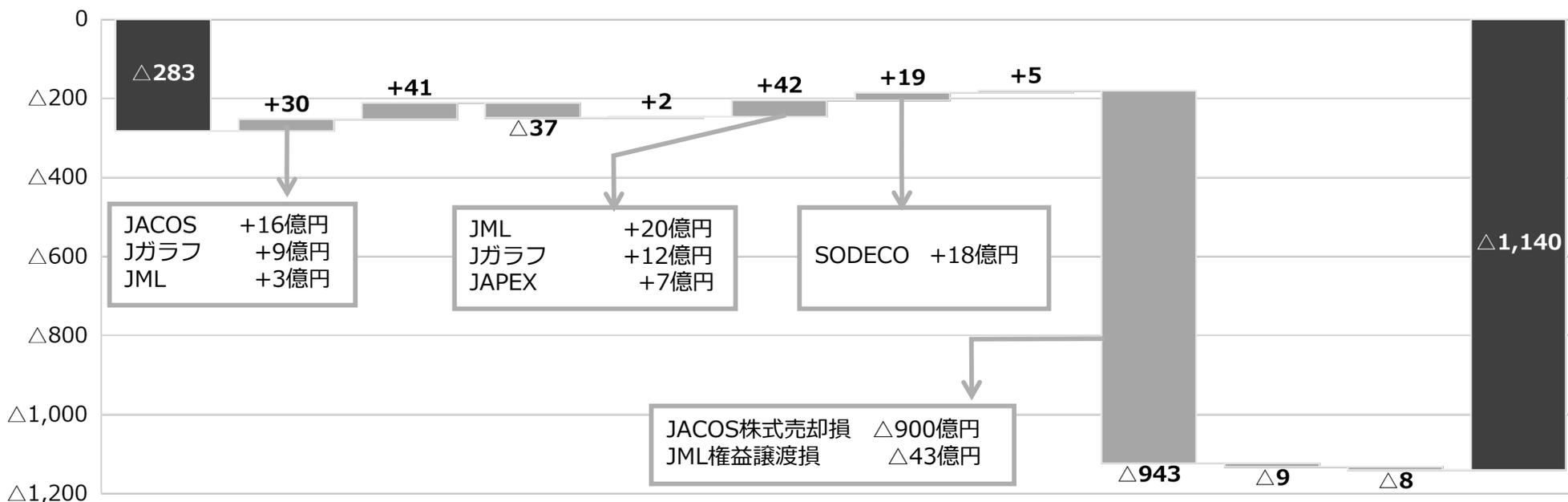
- 本社管理費の減少など

※ 上記事業部門に属さない営業利益（請負、石油製品・商品等）から本社管理費を控除した金額

\*営業利益内訳の事業区分別のそれぞれの金額は、当社グループの内部管理上の数値

# 純利益増減分析【5.13公表予想比】

億円



純利益	営業利益* +36億円					営業外損益 +67億円			特別損益	法人税等	非支配株主利益	純利益
前回予想(f) 5.13公表	海外E&P	国内E&P	I/U	その他	為替 差損益	持分法 投資損益	その他	特別損益	法人税 等	非支配 株主利益	今回予想(f) 8.10公表	
前回予想(f) 5.13公表	△20	112	57	△66	-	82	△6	△394	45	0		
今回予想(f) 8.10公表	9	153	20	△64	42	101	△1	△1,337	54	8		

\*営業利益内訳の事業区分別のそれぞれの金額は、当社グループの内部管理上の数値

# E&P事業 販売予想修正【前期比】

売上高単位：百万円	販売量単位	21/3月期 (a)		22/3月期 (f) 8.10公表		増減			
		販売量	売上高	販売量	売上高	販売量	売上高		
E&P事業	-	-	97,482	-	71,444	-	-	△ 26,038	△27%

(内訳)

原油	千KL	2,313	72,916	822	40,027	△1,490	△64%	△32,889	△45%
- 国産原油		287	8,835	285	13,628	△2	△1%	① +4,793	+54%
- 海外原油*1		538	18,268	513	25,217	△25	△5%	② +6,948	+38%
- 買入原油		1,486	45,812	24	1,181	③ △1,462	△98%	△44,631	△97%
希釈ビチューメン*2		1,319	21,695	949	30,211	△370	△28%	④ +8,516	+39%
天然ガス・海外販売*3	百万M3	470	2,870	130	1,205	⑤ △340	△72%	△1,665	△58%

## 主な増減要因

- ①販売価格の上昇
- ②イラク ガラフ油田 販売価格の上昇
- ③SODECO買入原油 収益認識基準適用による前期販売量の剥落
- ④カナダ ハンギングストーン鉱区 販売価格の上昇
- ⑤カナダ・シェールガスプロジェクトの権益譲渡による販売量減少

\*1 海外連結子会社 株式会社ジャベックスガラフ、JAPEX Montney Ltd.およびJapex (U.S.) Corp. の数値

\*2 ロイヤリティー控除後の数値

\*3 海外連結子会社JAPEX Montney Ltd.およびJapex(U.S.)Corp.の数値

# インフラ・ユーティリティ事業 販売予想修正【前期比】

売上高単位：百万円	販売量単位	21/3月期 (a)		22/3月期 (f) 8.10公表		増減			
		販売量	売上高	販売量	売上高	販売量	売上高		
インフラ・ユーティリティ事業	-	-	101,301	-	108,899	-	-	+7,598	+8%

(内訳)

天然ガス・国内販売	百万M3	1,183	51,291	1,026	51,510	①	△156	△13%	+218	+0%
- 国産天然ガス		528	-	491	-			△36	△7%	-
液化天然ガス	千トン	284	15,591	301	21,487	②	+17	+6%	+5,895	+38%
電力	百万kWh	3,016	30,087	3,164	31,038	③	+147	+5%	+951	+3%
その他*	-	-	4,331	-	4,863		-	-	+531	+12%

## 主な増減要因

- ①収益認識基準適用による販売量の剥落、（前期）福島天然ガス発電所向け試運転ガス販売量の減少、および販売価格の上昇
- ②販売量の増加および販売価格の上昇
- ③福島天然ガス発電所の通期稼働による販売量の増加

\* 天然ガスの受託輸送収入および液化天然ガスの気化受託収入などを含む

# 業績予想修正【前期比】

単位：百万円	21/3月期 (a)	22/3月期 (f) 8.10公表	増減	
売上高	240,078	<b>220,789</b>	△ 19,288	△8%
売上総利益	36,534	<b>42,141</b>	5,606	+15%
営業利益	4,192	<b>11,894</b>	7,701	+184%
経常利益	10,001	<b>26,159</b>	16,157	+162%
親会社株主に帰属する当期純利益	△ 2,725	△ <b>114,021</b>	△ 111,295	-

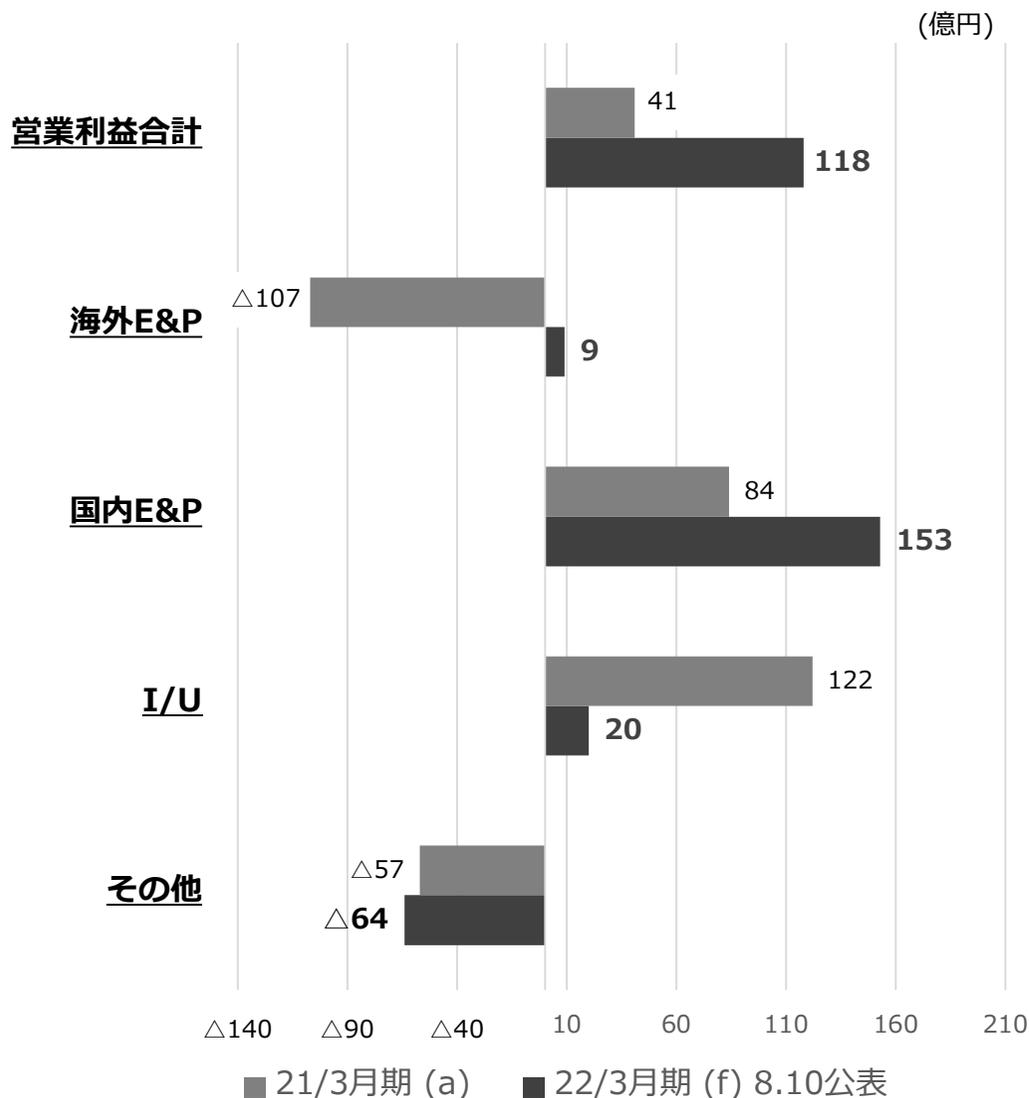
## 原油価格・為替・販売価格の実績

		21/3月期 (a)	22/3月期 (f) 8.10公表	増減
WTI	USD/bbl	40.87	<b>64.38</b>	+23.51
原油CIF(JCC)	USD/bbl	42.91	<b>68.28</b>	+25.37
為替	円/USD	105.86	<b>108.12</b>	+2.26
JACOS 希釈ビチューメン <sup>*1</sup>	USD/bbl	25.06	<b>46.84</b>	+21.78
JML 天然ガス <sup>*2</sup>	CAD/mcf	2.14	<b>2.96</b>	+0.82

\*1 海外連結子会社Japan Canada Oil Sands Ltd.の希釈ビチューメン販売価格（ロイヤルティ控除後）

\*2 海外連結子会社Japex Montney Ltd.の天然ガス販売価格（ロイヤルティ控除後）

# 営業利益概要【前期比】



## E&P事業

(海外) : +116億円 (△107億円 → 9億円)

- 原油価格上昇および重軽格差の改善などによる希釈ビチューメン販売収支の改善

(国内) : +69億円 (84億円 → 153億円)

- 原油価格上昇による収支改善
- 国産天然ガス販売単価\*の上昇

\* 当社内部管理上のE&P事業からインフラ・ユーティリティ事業への取引価格

## インフラ・ユーティリティ事業 (I/U)

△102億円 (122億円 → 20億円)

- 前期JEPX取引価格高騰による一過性利益の反動減
- LNG調達差益の減少

## その他※

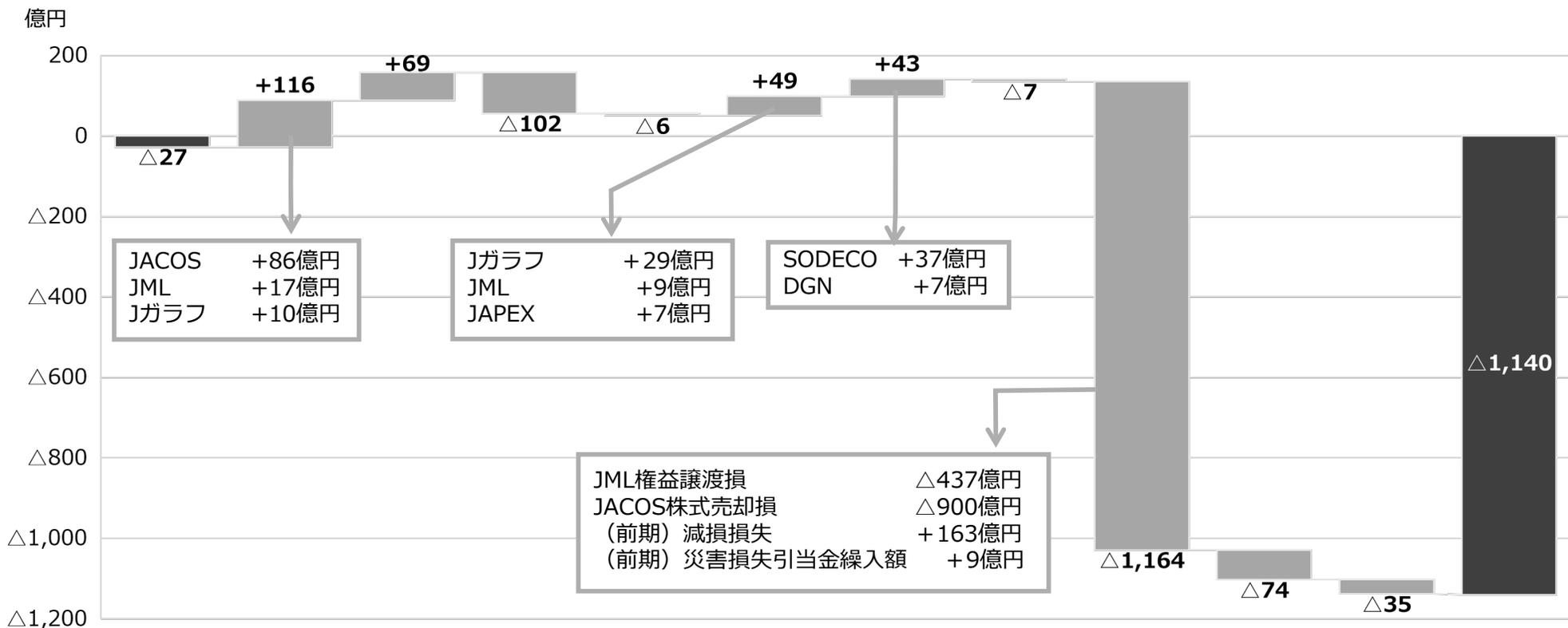
△6億円 (△57億円 → △64億円)

- 請負事業減益など

※ 上記事業部門に属さない営業利益（請負、石油製品・商品等）から本社管理費を控除した金額

\*営業利益内訳の事業区分別のそれぞれの金額は、当社グループの内部管理上の数値

# 純利益増減分析【前期比】



純利益	営業利益* +77億円				営業外損益 +84億円			特別損益	法人税等	非支配株主利益	純利益
-----	-------------	--	--	--	-------------	--	--	------	------	---------	-----

21/3月期(a)	海外E&P	国内E&P	I/U	その他	為替差損益	持分法投資損益	その他	特別損益	法人税等	非支配株主利益	今回予想(f) 8.10公表
21/3月期(a)	△107	84	122	△57	△6	58	6	△173	△19	△26	
今回予想(f) 8.10公表	9	153	20	△64	42	101	△1	△1,337	54	8	

\*営業利益内訳の事業区分別のそれぞれの金額は、当社グループの内部管理上の数値

# キャッシュ・フローおよび負債の状況

単位：百万円	21/3月期 (a)	22/3月期 (f)	
	通期	通期	
		5.13公表	8.10公表
営業活動によるキャッシュ・フロー	43,263	34,919	28,608
減価償却費	22,599	21,001	17,034
生産物回収勘定の回収	15,196	17,972	22,031
投資活動によるキャッシュ・フロー	△6,453	△22,304	9,629
有形固定資産の取得による支出	△15,153	△13,959	△14,223
生産物回収勘定の支出	△14,971	△22,863	△23,417
財務活動によるキャッシュ・フロー	△15,626	△40,158	△82,142
現金及び現金同等物の期末残高	157,963	130,420	114,059

有利子負債*1	118,710	82,500	64,858
EBITDA*2	37,150	40,870	44,705
EBITDA有利子負債倍率（倍）	3.2	2.0	1.5

\*1 有利子負債は、リース債務、退職給付に係る負債および偶発債務を含む

\*2 EBITDAは、営業利益、減価償却費、投資キャッシュフローにおける利息および配当金の受取額の合計額

## 参考資料

---

1. 売上高内訳
2. 損益の状況
3. セグメント損益
4. 業績予想の前提条件（原油価格・為替等）
5. 2022年3月期予想における原油価格・為替等のセンシティブティ
6. 事業拠点および主要事業紹介
7. 略語集

## 1. 売上高内訳 E&amp;P事業

	金額：百万円		21/3月期		22/3月期	
	1Q	通期	1Q (a)	通期 (f)		
				5.13公表	8.10公表	
売上高	22,904	97,482	16,796	70,034	71,444	
原油販売量 (千KL)	687	2,313	114	818	822	
原油売上高	15,936	72,916	5,556	32,397	40,027	
国産原油販売量 (千KL)	60	287	85	281	285	
国産原油売上高	1,800	8,835	3,927	11,405	13,628	
海外原油販売量 (千KL) *1	168	538	22	512	513	
海外原油売上高	4,393	18,268	1,312	19,928	25,217	
買入原油販売量 (千KL)	458	1,486	6	24	24	
買入原油売上高	9,742	45,812	316	1,063	1,181	
希釈ビチューメン販売量 (千KL)	410	1,319	351	1,444	949	
希釈ビチューメン売上高*2	6,258	21,695	10,058	36,661	30,211	
天然ガス海外販売量 (百万M3) *3	111	470	128	127	130	
天然ガス海外売上高	709	2,870	1,181	975	1,205	
WTI (USD/bbl)	45.10	40.87	58.10	54.74	64.38	
原油CIF (USD/bbl) *4	44.41	42.91	64.25	60.00	68.28	
為替 (円/USD) *4	108.04	105.86	108.43	105.00	108.12	
希釈ビチューメン*2 (USD/bbl)	22.30	25.06	40.99	38.44	46.84	
JML天然ガス*5 (CAD/mcf)	2.36	2.14	2.96	2.68	2.96	

\*1 海外連結子会社株式会社ジャベックスガラフ、JAPEX Montney Ltd.およびJapex (U.S.) Corp. の数値

\*2 ロイヤルティ控除後

\*3 海外連結子会社JAPEX Montney Ltd.およびJapex(U.S.)Corp.の数値

\*4 原油CIF価格を参照した国内原油販売単価実績および換算為替レート

\*5 海外連結子会社Japex Montney Ltd.の天然ガス販売価格 (ロイヤルティ控除後)

# 1. 売上高内訳 インフラ・ユーティリティ(I/U)事業

	金額：百万円		21/3月期		22/3月期	
	1Q	通期	1Q (a)	通期 (f)		
				5.13公表	8.10公表	
売上高	20,997	101,301	23,009	101,706	108,899	
天然ガス国内販売量 (百万M3)	248	1,183	233	1,018	1,026	
天然ガス国内売上高	12,798	51,291	10,709	48,194	51,510	
国産天然ガス販売量 (百万M3)	109	528	123	491	491	
液化天然ガス販売量 (千トン)	53	284	52	310	301	
液化天然ガス売上高	3,597	15,591	4,397	20,061	21,487	
電力販売量 (百万kWh)	448	3,016	765	3,154	3,164	
電力売上高	3,493	30,087	7,163	28,944	31,038	
その他*	1,108	4,331	739	4,505	4,863	

\* 液化天然ガスの気化受託収入などを含む

## 2. 損益の状況

単位：百万円	21/3月期		22/3月期		
	1Q	通期	1Q (a)	通期 (f)	
				5.13公表	8.10公表
<b>売上高</b>	<b>51,018</b>	<b>240,078</b>	<b>50,083</b>	<b>211,153</b>	<b>220,789</b>
E&P事業	22,904	97,482	16,796	70,034	71,444
インフラ・ユーティリティ事業	20,997	101,301	23,009	101,706	108,899
その他	7,116	41,294	10,277	39,412	40,445
売上原価	48,619	203,543	38,904	171,115	178,647
<b>売上総利益</b>	<b>2,399</b>	<b>36,534</b>	<b>11,179</b>	<b>40,038</b>	<b>42,141</b>
探鉱費	206	989	132	784	680
販管費	7,443	31,352	7,647	31,037	29,566
<b>営業利益</b>	<b>△ 5,250</b>	<b>4,192</b>	<b>3,400</b>	<b>8,215</b>	<b>11,894</b>
営業外損益	△ 4,325	5,809	7,091	7,525	14,265
受取利息	216	412	37	160	172
支払利息	△ 972	△ 2,529	△ 322	△ 868	△ 824
受取配当	49	2,823	48	2,994	3,635
持分損益	2,116	5,808	3,549	8,210	10,129
海投損繰入・戻入	85	342	92	246	253
為替差損益	△ 5,809	△ 639	3,851	-	4,274
その他	△ 10	△ 408	△ 165	△ 3,218	△ 3,376
<b>経常利益</b>	<b>△ 9,575</b>	<b>10,001</b>	<b>10,491</b>	<b>15,740</b>	<b>26,159</b>
特別損益	△ 3	△ 17,324	△ 1	△ 39,460	△ 133,795
税金等調整前当期純利益	△ 9,578	△ 7,322	10,489	△ 23,719	△ 107,636
法人税	173	△ 1,923	2,832	4,586	5,487
非支配株主に帰属する当期純利益	△ 215	△ 2,673	550	10	897
<b>親会社株主に帰属する当期純利益</b>	<b>△ 9,536</b>	<b>△ 2,725</b>	<b>7,106</b>	<b>△ 28,317</b>	<b>△ 114,021</b>

## 3. セグメント損益

単位：百万円		21/3月期		22/3月期		
		1Q	通期	1Q (a)	通期 (f)	
					5.13公表	8.10公表
日本	営業利益	790	21,988	6,122	17,964	18,403
	持分法投資利益	157	△ 319	19	△ 214	△ 214
北米	営業利益	△ 4,223	△ 9,374	△ 1,146	△ 828	1,279
	持分法投資利益	-	-	-	-	-
欧州	営業利益	△ 42	△ 132	△ 47	△ 196	△ 219
	持分法投資利益	-	-	-	-	-
中東	営業利益	301	165	537	336	1,255
	持分法投資利益	△ 2	△ 10	△ 3	△ 11	△ 10
その他 <sup>*1</sup>	営業利益	-	-	-	-	-
	持分法投資利益	1,961	6,138	3,534	8,436	10,354
調整額 <sup>*2</sup>		△ 2,075	△ 8,453	△ 2,066	△ 9,060	△ 8,825
連結損益算書計上額 <sup>*3</sup>						
	営業利益	△ 5,250	4,192	3,400	8,215	11,894

\*1 持分法適用会社サハリン石油ガス開発株式会社およびEnergi Mega Pratama Inc.などを含む

\*2 調整額の主な内容は、セグメント間取引消去および全社費用（主に報告セグメントに帰属しない一般管理費および試験研究費）

\*3 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益又は営業損失と調整を行っている

## 4. 業績予想の前提条件（原油価格・為替等）

市況前提			2021年				2022年	通期
			1-3月	4-6月	7-9月	10-12月	1-3月	
WTI	USD/bbl	前期実績	45.10	28.54	41.02	42.77	-	40.87
		当期実績・前提	<b>58.10<sup>*1</sup></b>	<b>66.06</b>	<b>71.49</b>	-	-	<b>64.38</b>
原油CIF (JCC) <sup>*2</sup>	USD/bbl	前期実績	-	44.41	33.34	44.51	49.99	42.91
		当期実績・前提	-	<b>64.25<sup>*1</sup></b>	<b>70.00</b>	<b>70.00</b>	<b>70.00</b>	<b>68.28</b>
為替 <sup>*2</sup>	円/USD	前期実績	-	108.04	106.88	105.46	104.03	105.86
		当期実績・前提	-	<b>108.43<sup>*1</sup></b>	<b>108.00</b>	<b>108.00</b>	<b>108.00</b>	<b>108.12</b>

### 販売価格前提

JACOS 希釈ピチューメン <sup>*3</sup>	USD/bbl	前期実績	22.30	11.29	29.77	31.25	-	25.06
		当期実績・前提	<b>40.99<sup>*1</sup></b>	<b>49.74</b>	<b>51.23</b>	-	-	<b>46.84</b>
JML 天然ガス <sup>*4</sup>	CAD/mcf	前期実績	2.36	1.85	1.89	2.43	-	2.14
		当期実績・前提	<b>2.96<sup>*1</sup></b>	-	-	-	-	<b>2.96</b>

\*1 実績値

\*2 原油CIF価格を参照した国内原油販売単価実績および換算為替レート

\*3 海外連結子会社Japan Canada Oil Sands Ltd.の希釈ピチューメン販売価格（ロイヤルティ控除後）

\*4 海外連結子会社Japex Montney Ltd.の天然ガス販売価格（ロイヤルティ控除後）

## 5. 22年3月期予想における原油価格・為替等のセンシティブティ

	22/3月期 2Q-4Q 前提	変動幅	影響額（百万円）		主な変動項目 + 増益効果/△減益効果
			営業利益	親会社株主に 帰属する当期純利益 又は当期純損失	
原油価格	<b>原油CIF価格 USD 70.00/bbl</b>	USD 1 /bbl の価格上昇	<b>140</b>	<b>100</b>	+ 原油・天然ガス販売 △ LNG調達コスト増
為替	<b>108.00円/USD</b>	1 円/USD の円安	<b>210</b>	<b>100</b>	+ 原油・天然ガス販売 △ LNG調達コスト増

### 【前提】

- ・持分法適用会社の損益変動は、上記の影響額に含まれない
- ・為替変動の影響に関して、上記に示したものの以外に、外貨建金銭債権債務の為替レート換算差額が発生  
また、実際の利益は原油価格や為替以外の様々な要因に影響される

## 6. 主要事業概況：E&P事業（原油・天然ガス開発生産）

### 当1Q（4-6月）以降の主な動き

- ✓ 新潟県・片貝油ガス田生産量増加のための追加開発決定（4月）
- ✓ カナダ・シェールガスプロジェクトの権益譲渡を決定（5月） ※7月に権益譲渡手続きを完了
- ✓ カナダ・オイルサンドプロジェクトの事業終結を決定（7月）

### 概 況

- 国内：北海道、秋田県、山形県、新潟県の油ガス田計10か所で原油・天然ガスを生産中／既存油ガス田の増産施策の検討継続
- 海外：原油・天然ガス開発生産プロジェクトに参画中／新規権益獲得検討継続

#### 【当社が参画する主な海外E&Pプロジェクト】

セグメント	プロジェクト名（オペレーター）	プロジェクト会社（当社出資比率）	権益比率（当社Net）	状況	生産量 (PJ全体1Q平均)
北米	カナダ・オイルサンドプロジェクト (Japan Canada Oil Sands Limited)	カナダオイルサンド(株) (94.58%)	75% (70.935%)	生産 <sup>*1</sup>	日量2.4万bbl
北米	カナダ・シェールガスプロジェクト (Petronas Energy Canada Ltd.)	JAPEX Montney Ltd. (55%)	10% (5.5%)	生産/開発 <sup>*2</sup>	日量1,430万m <sup>3</sup> (日量8.4万boe)
欧州	英国北海・シーガルプロジェクト (Neptune E&P UK Limited)	JAPEX UK E&P Ltd. (100%)	15% (15%)	開発 <sup>*3</sup>	-
中東	イラク・ガラフプロジェクト (PETRONAS Carigali Iraq Holding B.V.)	(株)ジャペックスガラフ (55%)	30% (16.5%)	生産/開発 <sup>*4</sup>	日量7.0万bbl
その他	インドネシア・カンゲアンプロジェクト (Kangean Energy Indonesia Ltd.)	Energi Mega Pratama Inc. (25%)	100% (25%)	生産	日量496万M3 (日量3.0万boe)
その他	ロシア・サハリン1プロジェクト (Exxon Neftegas Ltd.)	サハリン石油ガス開発(株) (15.29%)	30% (4.59%)	生産/開発	非開示

注) \*1：2021年7月29日にJACOS保有全株式の譲渡を決定／\*2：2021年5月13日に当社子会社保有全権益譲渡を決定

\*3：2021年末生産開始予定（コロナ禍等の影響により流動的）／\*4：コロナ禍等の影響により、日量23万バレルへの増産達成時期は流動的

## 6. 主要事業概況：インフラ・ユーティリティ(I/U)事業（ガス供給・電力）

### 当1Q（4-6月）以降の主な動き

- ✓ 秋田県能代市、三種町及び男鹿市沖洋上風力発電に係る事業者選定公募へ参加（5月）
- ✓ 当社と山形ガスが、ベーリンガーインゲルハイム製薬と天然ガスベースのエネルギー・サービス・プロバイダ契約を締結（6月）

### 概況

- ガス供給：当社国内ガス供給ネットワークを通じた天然ガス・LNGの安定供給／燃料転換需要への対応を含むガス拡販対応継続中
  - ・ 相馬LNG基地（福島県相馬郡新地町）では、隣接する福島天然ガス発電所からの発電燃料LNG気化送出受託業務を実施中
- 電力：稼働中発電所からの環境負荷の低い電力の安定供給／再生エネルギー新規案件検討継続中

#### 【当社が参画する電力プロジェクト】

区分	発電所名（オペレーター）	当社出資比率	所在地	出力合計	状況
天然ガス	福島天然ガス発電所（福島ガス発電(株)） <sup>*1</sup>	33%	福島県相馬郡新地町	118万kW	運転中
再エネ-太陽光	当社北海道事業所内メガソーラー	100%	北海道苫小牧市	0.18万kW	運転中
再エネ-太陽光	勇払太陽光発電所（ソーラーパワー苫小牧(株)） <sup>*2</sup>	10%	北海道苫小牧市	1.3万kW	運転中

注）<sup>\*1</sup>：当社を含む民間5社が事業パートナーとして出資する福島ガス発電(株)が運用管理を実施／<sup>\*2</sup>：住友商事グループとの共同事業

#### 【事業化検討に参画中の電力プロジェクト】

- 事業化検討中：長府バイオマス発電プロジェクト
- 検討コンソーシアム参画：（仮称）能代・三種・男鹿沖洋上風力発電事業、（仮称）秋田中央海域洋上風力発電事業、（仮称）遊佐町沖洋上風力発電事業

## 6. 主要事業概況：新規事業（環境配慮型事業の創出）

### 当1Q（4-6月）以降の主な動き

- ✓ 2050年に向けた当社カーボンニュートラル対応方針「JAPEX2050」の策定（5月）
- ✓ 三菱ガス化学(株)と新潟エリアを中心とするCO<sub>2</sub>有効活用事業の共同検討に合意（5月）
- ✓ インドネシア・スコワティ油田における二国間クレジットを活用したCCUSプロジェクトの事業性評価共同検討に合意（6月）
- ✓ 当社とJFEエンジニアリング(株)が、カーボンニュートラル社会実現に向けたエネルギー輸送・供給インフラに関する共同検討開始（6月）

### 概 況

- CCS（Carbon dioxide Capture and Storage：CO<sub>2</sub>の回収・貯留）/CCUS（Carbon dioxide Capture, Utilization, and Storage：CO<sub>2</sub>の回収・有効活用・貯留）の早期の実用化と事業化に向けた検討
- CCS/CCUSとの連携が期待できる、カーボンニュートラルに関する協業や参入の検討

#### 【参画中の主な実証試験・検討プロジェクトなど】

- 実証試験実施中
  - ・ 苫小牧における大規模CCS実証試験（日本CCS調査(株)への出資ならびに技術支援など）
- 事業可能性調査・検討中
  - ・ 苫小牧エリアを拠点とするカーボンリサイクルプロジェクトの実現可能性調査（NEDO受託事業、デロイトトーマツコンサルティング合同会社と共同実施）
  - ・ 東新潟ガス田におけるCO<sub>2</sub>-EOR/EGRの実現可能性調査（三菱ガス化学(株)との共同検討、同社新潟工場から排出されるCO<sub>2</sub>との連携を前提）
  - ・ インドネシア・スコワティ油田における二国間クレジットを活用したCCUSプロジェクトの事業性評価共同検討（プルタミナ、レミガスとの共同検討）

## 7. 用語集

### ■ 略語

BOE(D)	Barrels of Oil Equivalent (per Day)	石油換算バレル (日量)
CCS	Carbon dioxide Capture and Storage	二酸化炭素回収・貯留
CCUS	Carbon dioxide Capture, Utilization and Storage	二酸化炭素回収・活用・貯留
CIF	Cost, Insurance and Freight	運賃、保険料込条件
FID	Final Investment Decision	最終投資意思決定
GHG	Greenhouse Gas	温室効果ガス
HSE	Health, Safety and Environment	労働安全衛生・環境
JCC	Japan Crude Cocktail	全日本平均原油輸入CIF価格
MH	Methane Hydrate	メタンハイドレート
RRR	Reserve Replacement Ratio	埋蔵量置換率
WTI	West Texas Intermediate	ウェスト・テキサス・インターミディエイト原油

### ■ 主要な子会社・持分法適用会社

JACOS	Japex Canada Oil Sands Limited	カナダ・オイルサンドプロジェクト
JML	JAPEX Montney Ltd.	カナダ・シェールガスプロジェクト
Jガラフ	(株)ジャペックスガラフ	イラク・ガラフプロジェクト
EMPI	Energi Mega Pratama Inc.	インドネシア・カンゲアンプロジェクト
SODECO	Sakhalin Oil & Gas Development Co., Ltd.	ロシア・サハリン1プロジェクト
DGN	Diamond Gas Netherlands B.V.	マレーシアLNG ティガプロジェクト
FGP	福島ガス発電 (株)	天然ガス火力発電事業

# 注意事項

本資料に掲載されている当社の現在の計画、見通し、戦略、その他歴史的事実でないものは、将来の業績に関する見通しを示したものです。実際の業績は、さまざまな要素により、これら業績見通しとは大きく異なる結果となり得ることをご承知おき下さい。

本資料は投資勧誘を目的としたものではありません。

Copyright: 本資料に含まれるすべての内容に関する著作権は、当社が有しています。  
事前の承諾なく、これらの内容を複製もしくは転載することはお控えください。

注)

- ・本資料においては、(a) は実績数値 (actual results) を、(f) は予想数値 (forecasts) を示しています
- ・営業利益、経常利益、持分法投資利益、親会社株主に帰属する当期純利益の「△」表記は、各利益における損失を表しています

本資料に関するお問い合わせ、その他IRに関するご質問は、以下にお願いいたします

石油資源開発株式会社 コーポレートコミュニケーション室 電話: 03-6268-7111